

研究テーマ

自らの役割や将来の生き方・働き方を考える生徒の育成
～認め合い、高め合う活動の実践を通して～

研究のねらい

- 相手の気持ちや状況に配慮し互いに認め合う中で、積極的に人間関係を築こうとする態度を養う。
- 自らのよさや個性を知り、互いに高め合う中で、多様な生き方にふれ、働くことの意義を理解し、自己の生き方を考えさせる。

「かかわる力」の育成

- 積極的に人間関係を構築する
- コミュニケーションの技能を習得する

(1) アクティブラーニングの推進

- ・発問を工夫した深い学び
- ・グループ学習等での対話による学び

(2) 校内研修の充実

- 講師を招き、全体の指導力向上



(3) 外部講師による講演会等の実施

「みつめる力」の育成

- よさや個性を伸ばすよう努力する
- 自分を律する努力をする

(1) 自己肯定感の高揚

- ・研究授業を実施し、指導力向上
- ・よさを生かす指導方法の工夫改善

(2) アンケートの実施（年2回）

- ・ポートフォリオとして綴り、生徒自身も自己の成長や変容への気付き



実施内容

全教育活動における3年間を見通した取組の推進

「すすむ力」の育成

- 主体的に課題解決を図る
- 成功や失敗から学び自己決定する

(1) 目標設定とその振り返り

(2) 教育相談・個別面談の実施

(3) 委員会活動の活性化

- ・学習委員会が家庭学習調査を行い、自分の目標達成度を明確に見えるよう工夫

第2学期中間考査前家庭学習時間調査	
年 齢	年齢別時間割
1年生	1年生は、家庭学習時間は、原則として毎週4時間以上を確保することとする。
2年生	2年生は、家庭学習時間は、原則として毎週3時間以上を確保することとする。
3年生	3年生は、家庭学習時間は、原則として毎週2時間以上を確保することとする。
4年生	4年生は、家庭学習時間は、原則として毎週2時間以上を確保することとする。
5年生	5年生は、家庭学習時間は、原則として毎週2時間以上を確保することとする。
6年生	6年生は、家庭学習時間は、原則として毎週2時間以上を確保することとする。
7年生	7年生は、家庭学習時間は、原則として毎週2時間以上を確保することとする。
8年生	8年生は、家庭学習時間は、原則として毎週2時間以上を確保することとする。
9年生	9年生は、家庭学習時間は、原則として毎週2時間以上を確保することとする。

「えがく力」の育成

- 働くことの意義を理解する
- 自己の生き方を考える

(1年生) 職業インタビュー等

(2年生) 職場体験学習等

(3年生) 体験入学・進路相談等

(2年→1年) 職場体験から学んだ事

(3年→1・2年) 卒業前のメッセージ



[成果]

- 地域の多様な仕事や生き方について知り、経験することにより自分の将来の夢や生き方につなげて考えることができた。

- 学年の枠を越えた取組や行事等を通して人間関係の幅を広げ、多様な体験学習の成功体験から自分自身の成長を実感することができた。

[課題]

- 校区内の小学校との連携を一層深め、小中9年間の連続性を図る。

- 今年度の検証・改善を次年度に活かしていく。